

日本史

解答範囲は、解答番号 1 から 40 までです。

I 次の文章を読み、後の問い(問1～問12)に答えなさい。

1180年に挙兵した源頼朝は、所領の支配権を強化しようとする武士の勢力にささえられていた。そこで、鎌倉を拠点にした頼朝は、東国武士たちと、所領を介するつながりを基礎とした緊密な主従関係を結んだ。頼朝に従った武士は御家人と呼ばれ、彼らを統率する侍所が鎌倉におかれた。1184年、頼朝は、一般政務や財政事務をつかさどる ア (のちに イ と改称) と、裁判事務を担当する ウ を開き、中央(鎌倉)の政治機構を整備した。

頼朝は、おもに東国出身の有力御家人から守護^(a)を、御家人のなかから地頭^(b)を任命した。また、京都に エ を、九州に オ を、奥州に カ をおいて、各地の御家人を統轄させた。頼朝が鎌倉幕府を創設した後も、朝廷の力はまだ強く残っており、公家と武家との二元的な支配がおこなわれた。

頼朝の死後、子の頼家と実朝の時代になると、御家人中心の政治を求める動きが強まった。それとともに有力御家人のあいだで政治の主導権をめぐる激しい争いが続いた。ここで台頭してきたのが、頼朝の妻政子の実家である北条氏であった。やがて幕府の実権をにぎった北条時政は、執権と呼ばれ、子の北条義時によって、執権の地位が固められた。実朝の死後、朝幕関係が不安定になり承久の乱がおこったが、戦いは幕府の圧倒的勝利に終わった。

承久の乱後、3代執権となった北条泰時は、執権が主導する合議によって幕府の政策を決定する態勢をととのえ、これによって幕府は安定期をむかえた。合議制にもとづく政治の実現には、幕府政治のあるべき姿についての共通認識が必要であるため、泰時は武家独自の最初の整った法典である御成敗式目^(c)を制定した。このような他者の意見や客観的な法典を尊重する泰時の政治姿勢は、孫の北条時頼^(d)に受け継がれた。

問4 空欄 エ ～ カ にあてはまる語句の組み合わせとして、適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号 4

- | | | |
|-----------|--------|---------|
| ① エ＝京都町奉行 | オ＝鎮守府 | カ＝奥州探題 |
| ② エ＝京都町奉行 | オ＝鎮守府 | カ＝奥州総奉行 |
| ③ エ＝京都町奉行 | オ＝鎮西奉行 | カ＝奥州探題 |
| ④ エ＝京都守護 | オ＝鎮西奉行 | カ＝奥州総奉行 |
| ⑤ エ＝京都守護 | オ＝鎮西探題 | カ＝奥州探題 |
| ⑥ エ＝京都守護 | オ＝鎮西探題 | カ＝奥州総奉行 |

問5 下線部③に関連して、鎌倉幕府の歴史を編年体で記した書物として、適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号 5

- | | | |
|---------|---------|--------|
| ① 『沙石集』 | ② 『山家集』 | ③ 『大鏡』 |
| ④ 『方丈記』 | ⑤ 『吾妻鏡』 | |

問6 下線部④に関連して、承久の乱以前の公武二元支配に関する記述として、不適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号 6

- | |
|-----------------------------------|
| ① 朝廷は、新制(公家新制)を発布して荘園の整理などをおこなった。 |
| ② 朝廷は、幕府に属さない武士を独自に編成した。 |
| ③ 幕府が、朝廷に政治刷新を求めた結果、院中に評定衆がおかれた。 |
| ④ 幕府は、東国を実質的に支配した。 |

問1 空欄 ア ～ ウ にあてはまる語句の組み合わせとして、適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号 1

- | | | |
|---------|-------|-------|
| ① ア＝記録所 | イ＝評定所 | ウ＝問注所 |
| ② ア＝記録所 | イ＝政 所 | ウ＝恩賞方 |
| ③ ア＝記録所 | イ＝評定所 | ウ＝恩賞方 |
| ④ ア＝公文所 | イ＝政 所 | ウ＝恩賞方 |
| ⑤ ア＝公文所 | イ＝評定所 | ウ＝問注所 |
| ⑥ ア＝公文所 | イ＝政 所 | ウ＝問注所 |

問2 下線部⑤に関して、鎌倉時代の守護についての記述として、適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号 2

- | |
|-----------------------|
| ① 京都大番役の催促をした。 |
| ② 年貢の徴収・納入を担った。 |
| ③ 段銭を賦課した。 |
| ④ 幕府の判決を強制執行する権限を有した。 |

問3 下線部⑥に関する記述として、不適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号 3

- | |
|---------------------------|
| ① 平家没官領を中心とする謀反人の所領におかれた。 |
| ② 西国御家人も多く任じられた。 |
| ③ 平氏政権のもとでも、一部おかれていた。 |
| ④ 女性が任命される例もあった。 |

問7 下線部⑨に関連して述べた次の文X・Yについて、その正誤の組み合わせとして、適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号 7

X 頼家は、安達泰盛によって暗殺された。
Y 実朝は、頼家の子によって暗殺された。

- | | | | |
|-------|-----|-------|-----|
| ① X＝正 | Y＝正 | ② X＝正 | Y＝誤 |
| ③ X＝誤 | Y＝正 | ④ X＝誤 | Y＝誤 |

問8 下線部①に関連して、承久の乱までに滅んだ御家人として、不適切な人物を次のなかから1つ選びなさい。

解答番号 8

- | | | |
|--------|--------|--------|
| ① 比企能員 | ② 和田義盛 | ③ 梶原景時 |
| ④ 三浦泰村 | ⑤ 畠山重忠 | |

問9 下線部②に関連して、承久の乱後の荘園支配に関する記述として、不適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号 9

- | |
|---|
| ① 幕府が没収した貴族や武士の所領に、新たに任じられた地頭を、本補地頭という。 |
| ② 定額の年貢納入を請け負わせて、荘園管理を地頭に委ねる地頭請を選ぶ荘園領主が、出現しはじめた。 |
| ③ 荘園領主と地頭が土地を折半して、たがいに干渉せず、相互の支配権を認め合う下地中分の契約が結ばれることもあった。 |
| ④ 荘園領主が地頭の不法を、幕府へ訴えることもあった。 |

一般選抜入試(中期日程) 日本史(2月15日)

問10 下線部⑤の人物に関する記述として、適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号

- ① 承久の乱のとき、北条時行とともに、京都を攻めた。
- ② 執権を補佐する連署をおいた。
- ③ 藤原(九条)頼経を鎌倉から追放した。
- ④ 建長寺を造営した。

問11 下線部①に関する記述として、適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号

- ① 建武式目とも呼ばれた。
- ② 以後、幕府が発布した法令は、式目追加と呼ばれた。
- ③ この法典の制定にともない、公家法や本所法は効力を失った。
- ④ 室町幕府の成立によって、その効力を失った。

問12 下線部①の人物に関して述べた次の文X・Yについて、その正誤の組み合わせとして、適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号

- X 博多湾沿いに、石築地を構築させた。
- Y 引付を設置し、迅速で公正な裁判の確立につとめた。
- ① X = 正 Y = 正
- ② X = 正 Y = 誤
- ③ X = 誤 Y = 正
- ④ X = 誤 Y = 誤

Ⅱ 次の文章を読み、後の問い(問1～問12)に答えなさい。

15世紀、ポルトガルは、イスラム商人を介さず、直接東方との交易を目指すようになった。16世紀になると、インドの やマラッカを占領し、さらに中国の に居住権を得て、貿易をおこなった。

そのようななか、ポルトガル人が種子島に漂着し、日本に鉄砲をもたらした。さらに、宣教師が渡来し、キリスト教を伝えると、大名のなかには、宣教師を保護するキリシタン大名があらわれた。

16世紀後半に全国統一に乗り出した織田信長も、宣教師を保護し、布教に便宜を与えた。それに続く豊臣秀吉も、積極的に貿易を進め、布教を黙認していた。そのため、織豊時代、多くのヨーロッパの文化がもたらされた。しかしながら秀吉は、1587年、キリスト教への対応を変化させた。また、秀吉は、戦国動乱から統一への動きのなかで、国内にためられた余力を国外に向け、朝鮮出兵に至ったが、これは豊臣政権の弱体化をもたらした。

秀吉の死後、権力を強めた徳川家康は、1600年、リーフデ号が九州に漂着した時、船員を江戸にまねいた。家康は、1603年に江戸幕府を開くと周辺諸国との親睦につとめ、各国に の保護と貿易の許可を求めた。この頃ヨーロッパでは、オランダとイギリスが台頭し、アジア貿易に進出しており、日本との通商もはじめた。

家康は、当初、貿易の利益のため、宣教師の渡来と布教を黙認した。しかし、キリスト教が各地に広まり、信者が増大すると、幕府は禁教政策をとるようになり、また貿易統制も強化していった。

問1 空欄 ～ にあてはまる語句の組み合わせとして、適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号

- ① ア＝ルソン イ＝マカオ ウ＝奉書船
- ② ア＝ルソン イ＝香 港 ウ＝朱印船
- ③ ア＝ルソン イ＝マカオ ウ＝南蛮船
- ④ ア＝ゴ ア イ＝香 港 ウ＝南蛮船
- ⑤ ア＝ゴ ア イ＝マカオ ウ＝朱印船
- ⑥ ア＝ゴ ア イ＝香 港 ウ＝奉書船

問2 下線部③に関する記述として、適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号

- ① この頃には、武装した日本人を中心とする後醍醐寇が活動していた。
- ② このときポルトガル人は、対馬の宗氏の所有する船に乗っていた。
- ③ 領主の種子島時堯は、家臣に鉄砲の製法を学ばせた。
- ④ これ以前に、明は海禁政策をゆるめ、ポルトガル船は中継貿易に参入していた。

問3 下線部⑤に関する記述として、適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号

- ① フランシスコ＝ザビエルは、30年以上日本に滞在し、長崎で没した。
- ② フランシスコ＝ザビエルは、天皇から布教の許可を得た。
- ③ ポルトガルは、キリスト教の布教と貿易を密接に結びつけていた。
- ④ 日本にキリスト教を伝えたイエズス会は、カトリックを批判するプロテスタントにあたる。

問4 下線部④に関連して、天正遣欧使節を送ったキリシタン大名として、適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号

- ① 高山右近
- ② 伊達政宗
- ③ 支倉常長
- ④ 大村純忠
- ⑤ 島津義久

問5 下線部④の人物が発した次の史料を読み、その内容に関する記述として、不適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号

- 定^{さだめ} 安土山下^{さんばちゅうじやう} 町中
- 一 当所^{とうしよ}中樂市^{ちやうらくいち}として仰せ付けらるるの上は、諸座^{しよざ}・諸役^{しよやく}・諸公事^{しよこうじ}等、悉^{ことごと}く免許^{めんきよ}の事。
- 一 往還^{おうかん}の商人^{かみん}、上海道^{かうかいどう}は之^{これ}を相留^{あひど}め、上下共当町^{かみしやう}に至り寄^よ宿^{しゆく}すべし。
- ……
- 一 伝馬^{でんま}免許^{めんきよ}の事。
- 一 分国^{ぶんこく}中德政^{ちくせい}、之^{これ}を行ふと雖も、当所^{とうしよ}中は免除^{めんじゆ}の事。

(近江八幡市共有文書)

- ① この場所では、いろいろな座の特権・座役・座の雑税などを、すべて免除するとしている。
- ② 往来する商人をこの町に宿泊させ、掌握しようとしている。
- ③ 運送用の馬の徴発を命じている。
- ④ 領国内で徳政を実施しても、この場所では町人の債権は破棄されないとしている。

問6 下線部㉔に関して述べた次の文X・Yについて、その正誤の組み合わせとして、適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号 18

- X 宣教師のヨハン＝シドッチは、医療活動をおこない、西洋医学を伝えた。
Y 活字印刷術により、ポルトガル式のローマ字で表記された『平家物語』が出版された。
- ① X＝正 Y＝正 ② X＝正 Y＝誤
③ X＝誤 Y＝正 ④ X＝誤 Y＝誤

問7 下線部㉕に関する次の史料を読み、その内容に関する記述として、適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号 19

- 一 日本ハ神国たる処、きりしたん国より邪法を授け候儀、太^{はたらけ}以て然るべからず候事。
一 其国郡の者^{その}を近付け門徒になし、神社仏閣^{しんじあつゝ}を打破^{やぶ}るの由、前代未聞^{みへき}に候。国郡在所知行等給人^{こくぐんしよしちやう}に下され候儀は、当座^{とうざ}の事に候。天下よりの御法度^{ごほふだ}を相守り、諸事其意を得べき処^{しよじも}、下々として猥^{みだ}りの義曲^{ぎきよく}事の事。
一 伴天連^{ばんてんれん}、其知恵^{そのちえ}の法を以て、心ざし次第^{しだい}第二^{だいに}檀那^{だんな}を持ち候と思召^{おもほしめ}され候へハ、右の如く日域^{にちいき}の仏法を相破^{さうは}る事曲事に候条、伴天連儀、日本の地ニハおかせられ間敷候間、今日より廿^{にじふ}日の間ニ用意^{ようい}仕^{つかまつ}り帰国すべく候。……
一 黒船^{くろふね}の儀ハ商売^{しやうばい}の事に候間、各別に候の条、年月を経^へ、諸事充^み買^かいたすべき事。(松浦文書)
- ① この史料における「きりしたん国」には、16世紀後半に対日貿易をはじめたスペインは含まれていない。
② 大名が、自分の領地の国郡の者にキリスト教を奨めて信者にし、神社仏閣を壊しているということがあったと記されている。
③ キリスト教の布教をおこなっている宣教師だけでなく、キリシタン大名にも20日以内の追放を命じている。
④ 今後のキリスト教国の商人との取引も禁止するものである。

問11 下線部㉖に関連する記述として、不適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号 23

- ① オランダ人・イギリス人は、紅毛人と呼ばれた。
② オランダとの貿易は、サン＝フェリペ号事件でいったん途絶えた。
③ イギリスは、オランダとの競争に敗れ、対日貿易から撤退した。
④ オランダ・イギリスは、東インド会社をアジア貿易の拠点としていた。

問12 下線部㉗に関する記述として、不適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号 24

- ① 幕府は、直轄地に禁教令を出した。
② 幕府が、貿易により西国大名が力をつけることを恐れたのも背景にある。
③ 徳川家康が長崎で宣教師・信徒を処刑した事件を、26聖人殉教という。
④ 寛永12年の法令(禁令)で、日本人の海外渡航と在外日本人の帰国を全面的に禁止した。

問8 下線部㉘に関する記述として、不適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号 20

- ① 朝鮮に対し、明への侵攻の先導を求めたが、拒絶された。
② 肥前^{へizen}の名護屋^{なごや}に本営をおき、朝鮮に大軍を送った。
③ 朝鮮水軍を率いる李舜臣^{りしゆんしん}と明の軍勢により苦戦を余儀なくされた。
④ 慶長の役では、小西行長の和平交渉が成功して撤兵した。

問9 下線部㉙に関して述べた次の文X・Yについて、その正誤の組み合わせとして、適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号 21

- X イギリス人のウィリアム＝アダムズは、外交・貿易の顧問となった。
Y リーフデ号の漂着をきっかけに、平戸にオランダ商館が開かれた。
- ① X＝正 Y＝正 ② X＝正 Y＝誤
③ X＝誤 Y＝正 ④ X＝誤 Y＝誤

問10 下線部㉚に関連して、江戸幕府の初期の外交・貿易について述べた次の文X・Yについて、その正誤の組み合わせとして、適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号 22

- X 幕府の貿易政策の結果、東南アジアの各地に日本町がつくられた。
Y 朝鮮に回答兼刷還使を送り、朝鮮出兵での日本人捕虜を連れ帰った。
- ① X＝正 Y＝正 ② X＝正 Y＝誤
③ X＝誤 Y＝正 ④ X＝誤 Y＝誤

Ⅲ 次の(1)・(2)の文章を読み、後の問い(問1～問16)に答えなさい。

- (1) 第一次世界大戦の勃発により、戦場から速く離れた日本は、ヨーロッパ諸国やアジア市場にさまざまな商品^㉑を輸出し、かつてない好景気をむかえた。しかし、戦争が終結すると一転して経済は苦しくなり、第一次世界大戦後の戦後恐慌が発生した。さらに1923年には震災恐慌が発生し、日本経済はよりいっそうの打撃を受けた。^㉒震災恐慌から完全に立ち直らないなか、1927年には金融恐慌が^㉓はじまった。若槻礼次郎内閣は議会が閉会中であつたため、緊急勅令によって台湾銀行を救済しようとした。しかし、^㉔幣原外交に不満をもつ^㉕枢密院の了承が得られず、内閣は総辞職した。
- あとを継いだ田中義一内閣はモラトリアム(支払猶予令)を発して、金融恐慌の鎮静化をはかった。全国的に広がつた金融恐慌がおさまつたのち、中小銀行の整理や合併が進み、預金が大銀行に集中するようになった。これは、政府が銀行の経営体質を強化するため、銀行同士の合併を奨励したことによる。その結果、^㉖財閥の金融支配が強まった。

この時期には、政党の総裁が政権を担当し、「憲政の常道」と呼ばれる政党政治の慣行が成立した。第2次護憲運動で^㉗ア・^㉘イ・革新倶楽部からなる護憲三派が圧勝し、加藤高明内閣が1924年に成立した。この慣行は、1932年の五・一五事件で犬養毅内閣が倒れ、挙国一致内閣が成立するまで続いた。

問1 下線部㉙に関連する記述として、不適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号 25

- ① 造船業や海運業が発展した。
② 工業生産額が農業生産額を上回つた。
③ 野菜の生産や牧畜業など、商業的農業が発展した。
④ 好景気により物価は下落した。

一般選抜入試(中期日程)

日本史(2月15日)

問2 下線部⑤に関連して述べた次の文X・Yについて、その正誤の組み合わせとして、適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号 26

- X 関東大震災によって多くの手形の決済ができなくなったため発生した。
Y 政府は震災手形に対して、日本銀行に特別融資をさせて事態の収束をはかった。
- | | | | |
|---------|-------|---------|-------|
| ① X = 正 | Y = 正 | ② X = 正 | Y = 誤 |
| ③ X = 誤 | Y = 正 | ④ X = 誤 | Y = 誤 |

問3 下線部⑥に関する記述として、不適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号 27

- ① 首相の失言が恐慌のきっかけとなった。
② 台湾銀行は鈴木商店に対する巨額の不良債権を抱えていた。
③ 取り付け騒ぎがおこり、銀行の休業が続出した。
④ 紙幣を急造するため、裏が印刷されていない紙幣が発行された。

問4 下線部④に関する記述として、適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号 28

- ① 中国での軍閥の抗争や民族運動に対して、積極的に介入した。
② 日ソ基本条約を締結して、ソ連との国交を樹立した。
③ 中国における日本の特殊権益について、ランシングと協定を結んだ。
④ 武力行使という強硬策を基本方針とし、積極外交と呼ばれた。

問5 下線部③に関する記述として、適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号 29

- ① 枢密院は、旧幕府が欧米諸国と結んだ、不平等条約の改正を審議するために設置された。
② 枢密院の起草した憲法草案は、岩倉具視らの反対によって廃案となった。
③ 枢密院は、漸次立憲政体樹立の詔によって設置された。
④ 枢密院は、大日本帝国憲法で天皇の最高諮問機関とされた。

問6 下線部①に関連して述べた次の文X・Yについて、その正誤の組み合わせとして、適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号 30

- X 財閥の多くは、株式所有を通じて、多様な産業分野にまたがって企業を支配するコンツェルン形態をとった。
Y 財閥は、異なる財閥間で株をもちあう持株会社を設立した。
- | | | | |
|---------|-------|---------|-------|
| ① X = 正 | Y = 正 | ② X = 正 | Y = 誤 |
| ③ X = 誤 | Y = 正 | ④ X = 誤 | Y = 誤 |

問7 空欄 ア ・ イ にあてはまる語句として、適切なものを次のなかから2つ選び、解答番号31の欄を使用して2つの番号をマークしなさい。

解答番号 31

- | | | |
|---------|---------|---------|
| ① 憲政会 | ② 政友本党 | ③ 自由党 |
| ④ 立憲政友会 | ⑤ 社会民主党 | ⑥ 立憲民政党 |

(2) 1929年に成立した浜口雄幸内閣は、大蔵大臣に ウ 前日銀総裁を起用した。浜口内閣は、日本経済を再建するために、財政を緊縮して物価の引き下げをはかり、産業の合理化を進めて国際競争力の強化を目指した。外国為替相場の安定とデフレーションをうながすことを目的として、1930年1月には金輸出解禁が断行された。^⑤しかし、1929年10月にニューヨークのウォール街ではじまった株価暴落をきっかけとして世界恐慌に発展した。日本経済は世界恐慌の波及や、財政緊縮政策などにより、昭和恐慌におちいった。世界恐慌で消費が縮小したアメリカへの エ 輸出は激減した。さらに、都市の失業者が出身地の農村にもどる一方、農村では不況により兼業の機会が減少し、農業恐慌が発生した。このようななか、有効な対策が進まない状況に対して、政治家や財界人への反発が強まった。^①

1931年12月に成立した犬養毅内閣の大蔵大臣 オ は、^④金輸出再禁止を断行した。金輸出再禁止によって円相場が大幅に下落し、インフレーションが進んだが、円安を利用して諸産業は輸出をのばしていった。とくに カ の輸出拡大はめざましく、イギリスにかわって世界第1位の規模に達した。一方、政府は農村の救済を目的として、キ を推進した。

恐慌対策と軍事費の増大による需要拡大策は雇用増加につながり、1933年頃になると、日本は世界恐慌以前の生産水準を回復した。また、^①新興財閥が台頭し、軍と結びついて満洲や朝鮮へ進出していった。

問8 空欄 ウ ・ オ にあてはまる語句の組み合わせとして、適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号 32

- | | |
|-------------|-----------|
| ① ウ = 井上準之助 | オ = 片岡直温 |
| ② ウ = 井上準之助 | オ = 高橋是清 |
| ③ ウ = 片岡直温 | オ = 井上準之助 |
| ④ ウ = 片岡直温 | オ = 高橋是清 |
| ⑤ ウ = 高橋是清 | オ = 井上準之助 |
| ⑥ ウ = 高橋是清 | オ = 片岡直温 |

問9 下線部⑥に関して述べた次の文X・Yについて、その正誤の組み合わせとして、適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号 33

- X 金輸出解禁は、旧平価で実施された。
Y 金輸出解禁によって、通貨の金兌換は停止された。
- | | | | |
|---------|-------|---------|-------|
| ① X = 正 | Y = 正 | ② X = 正 | Y = 誤 |
| ③ X = 誤 | Y = 正 | ④ X = 誤 | Y = 誤 |

問10 下線部①に関して、昭和恐慌中に実施された政策として、適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号 34

- ① 重要産業統制法によって、指定産業でのカルテルが助成された。
② 日本列島改造論にもとづき、交通網が整備された。
③ 資金や資源を重要産業に重点的に投入する、傾斜生産方式が採用された。
④ 価格等統制令によって、企業が定めた品物の価格で販売された。

問11 空欄 エ ・ カ にあてはまる語句の組み合わせとして、適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号 35

- | | |
|-----------|---------|
| ① エ = 綿織物 | カ = 絹織物 |
| ② エ = 綿織物 | カ = 生 糸 |
| ③ エ = 生 糸 | カ = 綿織物 |
| ④ エ = 生 糸 | カ = 絹織物 |
| ⑤ エ = 絹織物 | カ = 綿織物 |
| ⑥ エ = 絹織物 | カ = 生 糸 |

問12 下線部①に関する記述として、不適切なものを次のなかから1つ選びなさい。
解答番号

- ① 1930年は米の豊作により米価が下落し、農家は「豊作貧乏」となった。
- ② 貧しい家庭では、欠食児童や子女の身売りが続出した。
- ③ 恐慌発生前から米価は低迷していた。
- ④ 農家の困窮が著しかったため、小作争議は減少した。

問13 下線部①に関連して、政治家や財界人を対象とした事件とその首謀者の組み合わせとして、適切なものを次のなかから1つ選びなさい。
解答番号

- ① 三・一五事件－大杉栄
- ② 三・一五事件－北一輝
- ③ 甘粕事件－井上日召
- ④ 甘粕事件－大杉栄
- ⑤ 血盟団事件－北一輝
- ⑥ 血盟団事件－井上日召

問14 下線部⑤に関して述べた次の文X・Yについて、その正誤の組み合わせとして、適切なものを次のなかから1つ選びなさい。
解答番号

- X 日本国内への金の流入が激しいため実施された。
- Y 日本は事実上の管理通貨制度に移行した。
- ① X＝正 Y＝正
- ② X＝正 Y＝誤
- ③ X＝誤 Y＝正
- ④ X＝誤 Y＝誤

問15 空欄 にあてはまる語句として、適切なものを次のなかから1つ選びなさい。
解答番号

- ① 農地改革
- ② 減反政策
- ③ 地方改良運動
- ④ 土地調査事業
- ⑤ 農山漁村経済更生運動

問16 下線部①に関連して、新興財閥とその中心人物の組み合わせとして、適切なものを次のなかから2つ選び、解答番号40の欄を使用して2つの番号をマークしなさい。
解答番号

- ① 日窒コンツェルン－鮎川義介
- ② 日産コンツェルン－鮎川義介
- ③ 日窒コンツェルン－団琢磨
- ④ 日産コンツェルン－団琢磨
- ⑤ 日窒コンツェルン－野口遼
- ⑥ 日産コンツェルン－野口遼